

平成23年度 第10回 大垣市景観遺産審議会 会議録

<p>日 時：平成23年9月2日（金）午後1時30分から午後2時10分 場 所：大垣市役所 本庁3階 第2委員会室 議 題：大垣市景観遺産の指定について ほか 出席者（敬称略） （委員） 溝口 正人（会長）、高木 朗義（会長代理） 坂東 肇、杉原 重明、森川 賢治 【計5名】 （市及び事務局） 小川 敏（市長） 安田 浩二（都市計画部長） 渡辺 峰男（都市計画課長） 中井 正幸（文化振興課長補佐） 下中 正人（都市計画課景観整備係長） 臼井 みか（文化振興課文化財係） 渡部 直樹（都市計画課景観整備係） 森井 信悟（都市計画課計画係） 【計8名】</p>	
事務局	※開会にあたって（会長へ議事進行をお願いするまでの間、議事を進行）
市長	※市長あいさつ（略）
事務局	※平成23年6月に委員の改選をおこなった後、最初の審議会であるため、会長・会長代理の選任をおこなう。
事務局	※委員の互選の結果、溝口委員が会長に選任される。 （溝口会長あいさつ（略））
会長	※会長代理に高木委員を指名 （高木委員あいさつ（略））
会長	＜議事進行については、大垣市景観条例施行規則第39条第2項の規定により、会長が会務を総理することとなっているため、以降の議事は会長が執り行う。＞
会長	※議事録署名者として、坂東委員を指名
会長	※本日の審議会は、大垣市景観遺産候補物件の審議となり、大垣市情報公開条例第6条に定める非公開情報についても審議す

	<p>ることになるため、非公開とすることを報告。</p> <p>※「大垣市景観遺産の指定について」を議題とする。</p>
事務局	<p>※会長に市長への答申をお願いする。</p>
会 長	<p>※答申書文面を読み上げ、市長に答申書を手渡す。</p>
事務局	<p>市長より、答申を受けてひとことお願いします。</p>
市 長	<p>ただいま、溝口会長から答申書をいただき、誠にありがとうございました。</p> <p>今まで、皆様方には熱心に、また且つ慎重にご審議をいただきまして、誠にありがとうございます。今後は、この景観遺産の指定に向けて所定の手続きを進めて参りたいと思っております。大垣市のいろいろな部分があるわけですが、大垣市らしい景観の保全と創出に今後とも努めて参りたいと思っておりますので、委員の皆様方には今後とも、一層のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げ、御礼のごあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございました。</p>
事務局	<p>都合によりまして、市長は14時に別の公務により退席させていただきますが、若干お時間がございますので、この機会に委員の皆様方と市長との意見交換ということで、今回の審議等につきまして、お気づきになられたことなどございましたら、お願いしたいと思います。</p>
会 長	<p>第2回を迎えまして、今回は、第1回目がある種の呼び水効果になったといえますか、市民の方にこの景観遺産の制度が少しずつ浸透し、新たに推薦いただいた中で、今回答申に至ったのだと思います。</p> <p>いろいろな自治体が歴史まちづくり法等様々な関係で、こういった取り組みを進める中、個人的には大垣市の取り組みは非常に先進的といえますか、本質的に大垣のまちづくりを今後どうするのかという所を見据えたうえでの腰の据わった取り組みであり、高く評価できるものと思っております。</p>
委 員	<p>大垣市の景観遺産の取り組みは、とてもすばらしいものと思っております。このことに携われることに非常に感謝しております。</p>

	<p>す。個人的にも現地調査等でいろいろなことを教わりまして、大変勉強になる機会で、大変ありがたいと思っております。</p> <p>溝口会長からもありましたが、今後のまちづくりを考えた、非常に地に足のついた取り組みであると感じております。特に、今年3月11日に大震災が起こり、それをきっかけに将来の暮らし方を日本国民が見直している時期だと思いますが、そういった中で日本らしさというか、経済的な豊かさではない豊かさといったものを暮らしの中で求めていくには、こういった物を大切にすることこそ、これからの日本にとって必要ではないかと感じております。これをきっかけに、ますます良いまちづくりがされていけば良いなと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>続いて委員を仰せつかりましたが、私は自分の住んでいる所で自治会を担当しております。今、防災であるとかいろいろなことで、新しい形で、もう一度地域を見直した地域づくりといったものがされているわけですが、私が今一番自治会で思っていることは、高齢化も含め、地域の絆をどうするかということです。そういった意味でいろいろな情報を得ながら、また発信しながら地域づくりに取り組んでいる所です。</p> <p>景観遺産のことで勉強しましたので、例えば丹波篠山や古川などの街へ行ってみると、この街は、このように頑張っているのだなといったことが目に見えてきます。大垣市も新しく奥の細道むすびの地の記念館ができるわけですが、大垣の方々が、そういった意味で自分たちの地域をどのようにしていくか、いろいろな発信ができたということで、大変うれしいことではないかと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>景観遺産の審議に参加させていただいて、先祖の方が大事にしてきた景観、歴史、遺産、そういった物をまた今後引き継いでいくことが大切だとつくづく感じました。こういったことから、まちづくりに皆さんが関心を持っていただくということが大切ではないかと思っております。</p>
	<p>委員</p>
	<p>大垣の史跡については結構知っていたのですが、市民の皆さんからの応募を見ますと、我々とは違った目線で地域や場所を見ているのだなと新たに思いました。また、違う視点で見ることによって、今まで忘れられていたものに新たな光が当てられることになると思います。1回目より2回目の方が、市民の方々にとって、地域に親しみの持てるような物があつた気がしました。1回目</p>

	<p>は、誰もが知っているような派手な物件が多くありましたが、2回目は、どちらかという地味な身近な物、自分たちが日ごろ世話になったり親しんで遊んでいるといった場所が多く、むしろそういった所に新たな光を当てる必要があるかと感じました。</p>
<p>会 長</p>	<p>委員から地域との関わりのお話がありましたが、いかがでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>委員がおっしゃったように、住民の方からの応募を見ると、身近な物を住民の皆さんが大切にしたいと感じていることが分かり、良かったと思います。今回は候補物件から忘れてしまった物件でも、そういった物を守ろうという活動が、住民によって行われているということを知れたことも、今回の審議の中で良かったのではないかと思います。景観遺産がこういった活動が広がるきっかけになっていけば良いと感じました。</p>
<p>会 長</p>	<p>歴史まちづくり法等、国の全体の枠組みの中で景観的資産を大切にしようといったトップダウン的な施策があり、この地域でも実際に取り組んでいる自治体もあります。大垣市でも都市計画的、まちづくり的観点で施策を進めていくうえでは、原資となる取り組みであるでしょう。一方で、委員からありましたように、景観遺産は、地域活動や地域から見た視点といった、ある種ボトムアップ的な形で地域の資産を掘り起こしていこうといった活動につながる枠組みであったと、2回目の募集でつくづく感じ、今回の審議でも話題になった所です。</p> <p>景観遺産の選定基準については、歴史性や物語性を持っている等の枠組みを決め、選考しなければいけません。今回の候補物件から見送った中には、例えば地域の人々の近年の非常に強い想いや取り組みが反映されたものであって、今後それが根付いて継承されていくことを暖かく見守っていきたい物もありました。それは、まちづくり、地域づくりの観点からは非常に重要な存在や活動であるのですが、景観遺産の枠組みだけでは拾いきれないかもしれません。その点は、景観遺産の枠組みやそれ以外の地域の取り組みを評価するような視点、行政側の取り組みが必要なのかもしれないといった意見も審議の途中で出てきました。地域の人々が普段見ている風景や地域の活動に対する想いは、今回の選考から垣間見えました。本来の景観遺産の物件指定とは違いますが、市長へはご報告させていただきたいと思います。</p> <p>住みやすい、生活するうえで魅力のある大垣市といった所の評</p>

<p>市長</p>	<p>価値のひとつとして景観遺産はありますが、それだけではないということをおもいました。ハリヨなど、地域の方の小さいところからの風景であるとか風物に対する想いというものを拾い上げることができた物もありましたが、拾いきれない部分もありました。</p> <p>お話しをお伺いして、1回目はポピュラーな大垣市民全体に知れ渡っているような景観遺産の指定がされたわけですが、2回目はどちらかというと地味な物、身近な存在の物を市民の皆さんから応募していただいたということでございます。確かに、それぞれの地域にある景観遺産を地域の方々が一生懸命に守り、地域のまちおこしに活用していただければ、大変すばらしいことになると思います。全市的に見れば地味な物であるかも知れませんが、地域の誇りとなるような、地域の皆さんに愛されるような景観遺産を保存していくことが大切なことだと思います。</p> <p>皆さんご存じのとおり、大垣市は城下町で、歴史文化のあるまちですが、残念ながら太平洋戦争で焼失してしまい、昔は良かった所が少なくなってきてしまっているところでもあります。大垣市は産業都市であって、基本的には近代化路線を歩んでいるわけがありますが、それと同時に歴史と文化のある城下町でもあります。今回の答申にもありますように、[] などといった、戦争で焼失しなかった昔ながらの良い景観遺産が残っておりますので、こういった古い資産を是非大切にしていきたいと思っております。</p> <p>それから[]の話もございましたが、大垣市は水の都ということで、「水都大垣」として対外的に大きく売り出しておりますが、親しみのある池の庭園のような地域が案外少ないです。水都大垣と呼ばれるのであれば、もっと親水空間、水に親しめるような、皆さんの憩いの場になるような所があればすばらしいと思っております。昔はあちこちに溜め池や堀田などいろいろありましたが、それを埋め立てて公園にしたり、建物が建ったりしましたので、そういったものが少なくなり、寂しい想いもあります。今回の答申で[]や[]といった、自噴水のまち、水の都大垣の特徴を捉えた地域を取り上げていただき、大変ありがたいことではないかと思っております。</p> <p>いずれにいたしましても、なかなか世界遺産となるようなところまではいきませんが、それぞれの地域の持ち味のあるすばらしい景観を推薦し、そして地域の皆さんに守り、育てていただければ、大変ありがたいなと感じました。</p>
-----------	--

事務局	<p>それでは、大変恐縮でございますが、市長は次の公務がございますので退席をさせていただきます。</p>
市長	<p>それでは、引き続きお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
	<p>※市長退席</p>
事務局	<p>※今後のスケジュールについて報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観遺産候補物件所有者等へ説明（同意書提出） ・第11回審議会の開催（指定予定物件の報告について）
会長	<p>スケジュールの関係につきましては、何かご意見ご質問等ございませんでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（意見・質問なし）</p>
会長	<p>その他、委員の皆さま、ご意見ご質問などございませんでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（意見・質問なし）</p>
会長	<p>本日は、具体的な物件の審査についてまで、なかなか食い込んだ議論はできませんが、先ほど委員からもお話しがありましたように、自薦他薦の時には、地域の取り組みや熱い想いというのが反映された物件が出てくるわけですが、景観遺産の本来の基準からすると性格が違う物もあり、そういった物については、別の枠組みで評価できるものがあるのかもしれませんが。地域活動の顕彰評価というものも、行政側として考えていただくと良いかと思えます。そういった活動の継続の結果が、景観遺産として結実するものかもしれないと、審査の過程で感じました。</p> <p>全体の地域づくり、まちづくりの中での景観遺産の位置づけや、景観遺産では拾いきれないが魅力的な地域の在り方を示してくれた事例など、第1回目、2回目の選考の過程も含めておさらいしていただき、今後どのような評価、活動があり得るかを検証していただくと良いと思えます。</p>

事務局	<p>会長より、今後に向けてのアドバイスをいただきましたので、これまでの過程を見直し、これからの景観遺産について、どうあるべきかも含めて検討し、審議会でもご審議いただければと思います。今後ともよろしくお願ひしたいと思います。</p>
会長	<p>その他、ご意見ご質問などございませんでしょうか。 ご発言もないようですので、以上をもちまして閉会とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">（終了時刻 午後２：１０）</p>
配布資料 一覧	<p>大垣市景観遺産の指定について【答申書(写)】 大垣市景観遺産候補物件一覧 大垣市景観遺産審議会委員名簿</p>